特集2

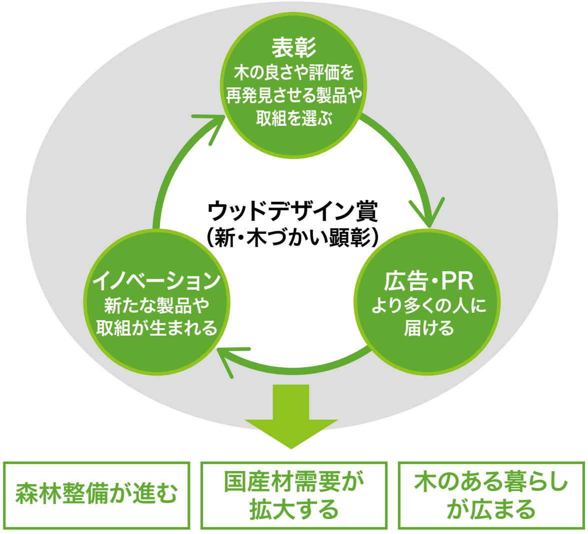
ウッドデザイン賞2016

JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2016

「ウッドデザイン賞」は、木のある豊かな暮らしが普及、発展し、日々の生活や社会が彩られ、木材利用が進むことを目的として、「木」に関するあらゆるモノ・コトを対象に、優れた製品・取組等を表彰する制度です。

同賞は、木を使って暮らしを豊かにする「ライフスタイルデザイン部門」、人を健やかにする「ハートフルデザイン部門」、社会を豊かにする「ソーシャルデザイン部門」の３つの部門からなります。

■ウッドデザイン賞の目指すもの



第２回となる今年度は、４５１点の応募があり、書類による１次審査、プロジェクトデザイナーの赤池学氏や建築家の隈研吾氏などの審査委員による２次審査を経て、２５１点が「ウッドデザイン賞」を受賞しました。

さらに、この中から「農林水産大臣賞（最優秀賞）」１点、「林野庁長官賞（優秀賞）」各部門３点ずつ、「審査委員長賞（奨励賞）」各部門５点ずつ、計25点の上位賞が選ばれました。これらの上位賞は、昨年12月８日に発表が行われ、東京ビックサイトで行われた「エコプロ２０１６」で表彰式が行われました。

今年度も力作が揃い、赤池審査委員長は、表彰式の総評の中で、「作品のレベルが昨年より向上しており、自動車や病院内の木質化など、木の新しい利用の形を開く様々な技術が受賞している。受賞作品を通じて木に囲まれた新しい住生活を感じて欲しい」と語っていました。

また、同日開催されたシンポジウムでは、登壇者から「日本人は古来より全てを森林資源に頼って来た。国産の木を使う、新たな素材造りが大切」（プロダクトデザイナー 益田文和氏）、「木を使うことは、コストや法整備の問題があり難しい面もあるが、もっとあたりまえに木が使われ、街が住み易くなってほしい」（建築家　手塚由比氏）、「木材の利用を訴える手法として、『かわいい』とか『かっこいい』など、まずは直感・感情で訴えることを積極的に行った方が良い」（東北芸術工科大学教授 山崎亮氏）、「客観的なデータの裏付けも大切であり、一定程度のエビデンスが必要」（慶応義塾大学教授 伊加賀俊治氏）などのコメントが述べられ、次回のウッドデザイン賞への期待も表明されました。

赤池学審査委員長

シンポジウム登壇者

農林水産大臣賞（最優秀賞）

ソーシャルデザイン部門（技術・研究分野）

コンセプトカー SETSUNA（愛知）

トヨタ自動車㈱

本年度の農林水産大臣賞（最優秀賞）は、ソーシャルデザイン部門（技術・研究分野）の「コンセプトカー　SETSUNA」（トヨタ自動車㈱）が、受賞しました。

「SETSUNA」は、「家族と共に時を刻むクルマ」をコンセプトに、ぬくもりがあり、時間と環境により変化する「木材」を使うことで、人々と共に歳月を経て変わっていくことを愛でる、という“人とクルマの新たなつながり”を表現する、全長約3メートルの木製の2人乗り電動自動車です。

住友林業㈱をはじめとする森林・林業・木材産業分野の各社との協働で開発された「SETSUNA」は、駆動部分を除き、ボディーにはスギ、ハンドルにはヒノキ、フレームにはカバなど、用途に応じた木材がふんだんに用いられ、釘やネジを使わない日本の伝統技法「送り蟻」、「くさび」などを採用しています。

「SETSUNA」は、自動車づくりの専門性と木材利用の専門性が協働したプロジェクトで、これまで木材利用とは縁がなかった業種・業態に木材利用を波及させる模範例となり得ることが、受賞理由となりました。

JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2016

林野庁長官賞（優秀賞）紹介

ライフスタイルデザイン部門

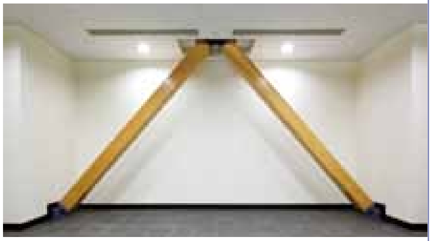
Ｊパネル
協同組合レングス

（建材・部材分野）

国産材のスギ・ヒノキを100％原料とした直交集成板。薄型CLTの先駆的モデル。

耐震補強技術 T -FoRest
㈱竹中工務店

（技術・研究分野）



CLT、集成材、LVL等の高強度性や加工性、軽量可搬性を活かし、RC造等の大規模建築物の耐震補強を行う木質系耐震補強システム。

Roll Press wood
㈱天童木工

（技術・研究分野）

独自技術で強度を高めたスギなどの針葉樹の単板を使用し、自由な曲線を持つ丈夫な部材を作る、世界初の技術。

ハートフルデザイン部門

日本橋とやま館「富山らしさを表現する木づかい」
㈱乃村工藝社

（建築・空間分野）

産地に眠っていた原木、製材品、加工品など様々な工程段階の木材を現地で選定、調達しデザインした富山県のアンテナショップ。

新柏クリニック
医療法人社団中郷会 新柏クリニック

（建築・空間分野）

木の癒やし効果に着目し、国産材木材の利用にこだわり、新しい防火技術の導入により都市部において木造・木質化された医療施設。

産学官連携「病院木質化プロジェクト」
㈱ハルキ

（技術・研究分野）

産学官が連携して、地域材を利用した病院空間用のウッドインフィル「病院ユニット」を開発・試作したプロジェクト。

ソーシャルデザイン部門

堀切の家
桜設計集団一級設計士事務所

（建築・空間分野）

木材をあらわしにしながらも、地震や火事に負けない設計上の配慮を随所に施し、木造密集市街地（準防火地域）に建つ木造２階建て住宅。

平成28年熊本地震における木造応急仮設住宅の供給
木と住まいの研究協会

（建築・空間分野）

被災された方々が安らぎある生活を早く送れるよう、熊本県産の木材を多用した応急仮設住宅を企画した取組。

大工と組む 我が家再生
㈱親和設計

（コミュニケーション分野）

作り手技術集団が住まい手をエスコートする安心のわが家再生を実現する活動。

他の受賞作品も含め詳細については、ウッドデザイン賞運営事務局のホームページをご参照ください。

https://www.wooddesign.jp/

受賞作品の展示

「ウッドデザイン賞」では、世の中に受賞作品を広く広報し、木材利用の意義を広く国民の皆さまに伝えるため、全国各地で行われる展示会等において、受賞作品の巡回展示を行っています。

エコプロ 2016

12月8日（木）から12月10日（土）まで、「エコプロ2016」の会場内の特設コーナーにて、受賞作品が紹介されました。期間中、多くの来場者が訪れ、作品に熱心に見入ったり、写真やメモをとったり、実際に展示作品を手にとり肌ざわりを確かめるなど、関心を集めていました。

「ウッドデザイン賞2016」展示会の様子

２月～３月のウッドデザイン賞巡回展示スケジュール（予定）

木と住まいの大博覧会

【期間】２月３日（金）～２月５日（日）
【場所】東京ビックサイト 西展示場
【内容】展示・セミナー（２月４日）
【URL】http://www.nicefair.com/wood/

ファッションとデザインの合同展示会「ROOMS」

【期間】２月15日（水）～２月17日（金）
【場所】国立代々木競技場第一体育館
【内容】展示
【URL】http://www.roomsroom.com/

ジャパン建材フェア

【期間】３月17日（金）～３月18日（土）
【場所】東京ビックサイト　東展示場
【内容】展示
【URL】https://www.jkenzai.co.jp/jkfair/next/

お問合わせ先

ウッドデザイン賞運営事務局

ＴＥＬ：03-5777-3128　　ＦＡＸ：03-6740-8333
メール：info2016@wooddesign.jp　　ＵＲＬ：https://www.wooddesign.jp/

※受賞作品の内容や審査委員のコメント、展示会の様子などウッドデザイン賞についての各種情報は、運営事務局のFacebookでも配信されています。

ＵＲＬ：https://www.facebook.com/wooddesignaward/